

閉幕会議における挨拶

朝鮮社会科学者協会第1副委員長

シム・スンゴン

親愛なるセミナーの参加者の皆さん！

自主と平和、正義と進歩に対する人類の志向と要求が日増しに高まっている時代に、全世界のチュチェ思想研究者たちと進歩的人士たちの期待と関心の中で開かれたチュチェ思想に関するインターネット国際セミナーは、参加者の非常な熱意と積極性、真摯な態度によって成功裏に行われました。

今回のセミナーは、チュチェ思想の創始者であり、チュチェ朝鮮の始祖である偉大な金日成主席の生誕110周年を迎えて行われたことによってさらに有意義なものとなります。

私は朝鮮社会科学者協会の名において、セミナーの成果的な開催のために積極的に活動なさったチュチェ思想国際研究所の理事長ラモン・ヒメネス・ロペス先生、事務局長尾上健一先生をはじめ、諸先生に謝意を表します。また、立派な討論をしてくれたチュチェ思想研究者や進歩的人士の方にも心からのお祝いの挨拶を申し上げます。

皆さんが討論でも強調したように、チュチェ思想はその真理性と正当性、不敗の生命力からしてより多くの人々の共感を呼び起こしており、大きな牽引力を持って世界に急速に広まっています。人間をもっとも貴重で有力な存在とみなし、人民大衆を全知全能の存在として押し立てるチュチェ思想は、今日人民大衆の自主性を実現するための闘争の前途を明るく指し示す旗じるしとして光を放っています。

朝鮮が自主の強国としてその名をとどろかし、朝鮮人民が尊厳のある誇らしい人民になったのは、不滅のチュチェ思想を指導指針としてたたかってきたからであります。

敬愛する金正恩総書記の指導の下に今日、朝鮮民主主義人民共和国は、チュチェ思想の旗を高く掲げて躍動する発展振りと底力を誇示しながら社会主義建設の全面的な発展期を迎えています。

朝鮮の昨日と今日、世界の自主化をめざす激しい潮流は、チュチェ思想が科

学であり勝利であるということ、自主性の実現を目指す人民大衆の闘争の貴い指針であるということを実証しています。

今日、自主の革命学説は、真の自由と幸せを志向する人民の精神的支柱、自主性を志向する国と民族の闘争の旗印となっています。

自主を志向する時代の流れはいかなる力をもってしても阻むことができません。

チュチェ思想の研究者たちは、自主思想の研究と普及という誉れ高い正義の使命を担った先覚者として、この時代の流れをもっと激しくするための闘争で大きな役割を果たしています。

愛する祖国と民族の自主的発展と繁栄、人民の真の生のために、自主的で平和な新しい世界を建設するために、愛国、愛族、愛民の道を信念で歩んでいる皆様の労苦と業績を歴史と人民は忘れないことでしょう。

皆様のご健勝とご活動での成果を心からお祈りします。

ありがとうございました。